

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 149

事業名	交通指導員運営委託負担金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	市民生活部	生活環境課		款	総務費・2款
電話	0799 - 43 - 5024			項	総務管理費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務			目	交通対策費・10目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	法的根拠 (法令、条例、要綱等)			
	まちづくりの目標	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_ とにかく「いのち」が一番_【安全】			
	施策目標	住宅や公共施設の災害に対する安全性と、災害に対する市民の意識を高め、自ら身を守る力を育てる			
該当する事業について「 」を選択		施策的事业	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	対象(誰を・どのような状況の人に)	市民	対象人数(人)	53,374	
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 交通安全運動の啓発と推進の為、交通指導員の人件費等を負担金として交付する。 交通死亡事故者は、平成16年は5名、平成17年度は6名、平成18は6名であり、平成19年以降すでに5名発生している状況である為、交通指導の強化を図り交通事故死亡者数の減少を図る。			
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 交通指導員の職務内容は、主として子供と高齢者老人の交通安全を図る。 (1) 幼児、児童及び生徒並びに高齢者老人に対する交通安全教育、講習実施。 (2) 通学(園)路における登下校(園)時における保護と誘導。 (3) 街頭における広報活動並びに交通指導。 (4) その他交通安全に関する必要な業務。高齢者宅戸別訪問と夜光反射材の普及促進等の活動を一層推進を行って市民の意識向上を図る。			
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 交通事故を未然に防止する為、専門職員を確保し、交通安全の指導、啓発活動を行う。			
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 (交通指導員)			
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし				
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から				

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	交通安全運動年間実施回数			指標単位 回
	指標説明 (指標算出方法等)	市内での交通安全運動実施回数(春・夏・秋・年末)			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	100	100		
	実績値	100	100		
	達成度 (%)	100.0	100.0	-	-
目標値設定の考え方	前年度の実施回数(春・夏・秋・年末)				
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	交通安全運動年間実施達成率			指標単位 %
	指標説明 (指標算出方法等)	予定回数 ÷ 実施回数 × 100			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	100	100	100	100
	実績値	100	100	100	
	達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-
目標値設定の考え方	交通指導員運営委託一式				
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	直接事業費 (千円)	11,460	11,900	11,900	11,300
	交通指導員運営委託負担金	11,460	11,900	11,900	11,300
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	11,460	11,900	11,900	11,300
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
事業量2(事業に要した人数)					
年間経費([A]+[B])	11,460	11,900	11,900	11,300	
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	0.2	0.2	0.2	0.2	
受益者人数(2)1人当り経費(千円)	5,730.0	5,950.0	5,950.0	5,650.0	
経費に関する補足説明					

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	100.0	100.0	-	-	
(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 現交通指導体制で事故防止啓発活動、交通安全教育推進が図られている。							4
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	100.0	100.0	100.0	-	
	成果向上率	%	-	0.0	0.0	100.0	
(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 市職員が事業実施するよりも経済性及び計画性は優れている。							4
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		千円	114.6	119.0	-	-	
	効率性増減率	%	-	3.8	#VALUE!	-	
(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 交通事故の被害者は交通弱者(老人・子ども等)であり、交通指導員はそれらの人を対象に、1年間のスケジュールを立て、計画している。平成18年夏の交通事故防止運動から婦人会、老人会、自治会も南あわじ市交通対策協議会に加入し、市民全体での組織づくりができ、一層交通安全対策が実施できる。							4
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 交通事故防止の啓発及び保育園・小中学校及び市民全体の交通安全教育に力を発揮している。						
							4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>				
	現状維持						

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	交通事故を未然に防止する為の交通安全指導、啓発活動などの交通安全対策は、専門員に委託することにより、より効率的、効果的に実施することができるため、交通指導員運営委託については、今後とも運営経費の節減に努めつつ継続していく必要がある。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 全国統一事業	